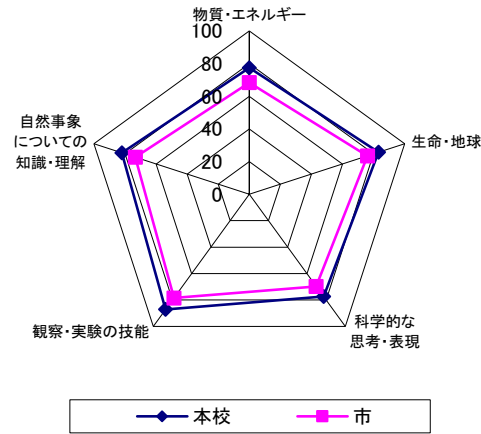


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	77.5	68.3	68.1
	生命・地球	83.1	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	77.5	69.7	68.0
	観察・実験の技能	87.2	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	82.0	73.4	73.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○ 正答率は77.5%で、市の平均正答率を9.2ポイント上回っている。特に、「物の溶け方」については、各問とも市の平均正答率を8ポイント以上上回っており、学んだ内容がしっかりと身に付いている。 ● 「ふりこのきまり」と「水溶液の性質」では、市の平均正答率を上回ったものの、正答率が62.7%と低い問題があった。	・ 正しい実験のやり方と結果についての理解を確実にできるように、折に触れて復習させていく。また、水溶液の性質とリトマス試験紙の色の変化については、きちんと表にまとめて理解できるようにする。
生命・地球	○ 正答率は83.1%で、市の平均正答率を7.1ポイント上回っている。特に、「魚のたんじょう」については、各問とも平均正答率が86%を上回っており、学んだ内容がきちんと身に付いている。 ● 「月と太陽」では、市の平均正答率は上回ったものの、67.6%と59.8%という低い正答率の問題があった。	・ 上弦の月が南中する時刻や月と太陽の位置関係から、その時刻と月の形の見え方を推測する問題の正答率が低い。この領域は例年正答率が低い分野である。太陽と月と地球の位置関係、それぞれの動き方、月の形の見え方について、もう一度実験結果を振り返らせ、月の満ち欠けについては規則性があることをしっかり理解させたい。